

11 正規分布

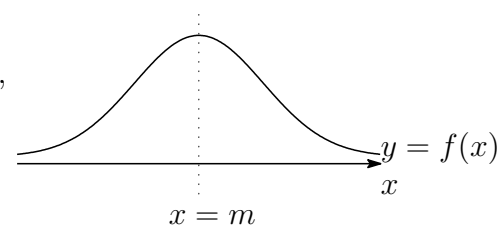
確率変数 X の確率密度関数が $f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma} e^{-\frac{(x-m)^2}{2\sigma^2}}$ であるとき,

X は正規分布 $N(m, \sigma^2)$ に従うという.

ここで, m は平均, σ^2 は分散 (σ は標準偏差) である.

※ e はネイピア数という特別な定数で, $e = 2.71828 \dots$ である.

曲線 $y = f(x)$ のグラフは直線 $x = m$ に関して対称となる.



特に, $m = 0, \sigma = 1$ とした分布を標準正規分布 $N(0, 1)$ という. 関数密度関数は $f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}} e^{-\frac{x^2}{2}}$

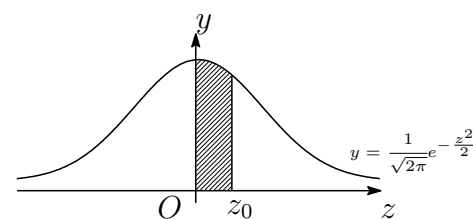
となり, 曲線 $y = f(x)$ と x 軸, y 軸および y 軸平行な直線で囲まれる面積は表にまとめられている. これを正規分布表という.

また, このグラフが y 軸対称であることもよく利用される.

以下, 正規分布表を利用するために, 変数変換をする.

確率変数 X が正規分布 $N(m, \sigma^2)$ に従うとき,

$$Z = \frac{X - m}{\sigma}$$



とおくと, Z は標準正規分布 $N(0, 1)$ に従う.

正規分布表の一部

z_0	0.00	0.01	...
0.0	0.0000	0.0040	...
\vdots	\vdots	\vdots	
1.0	0.3413	0.3438	...

$$P(0 \leq Z \leq 1) = 0.3413$$

$$P(0 \leq Z \leq 1.01) = 0.3438$$

例題 11

ある集団のテストの得点 X は平均 60 点, 標準偏差 15 点の正規分布に従っていることが分かっている. 45 点以上 75 点以下を取った人の割合は何%か. また, 90 点以上取った人の割合を求めよ.

解答

X は正規分布 $N(60, 15^2)$ に従う. このとき, $Z = \frac{X - 60}{15}$ とすると,

Z は標準正規分布 $N(0, 1)$ に従う.

$45 \leq X \leq 75$ のとき, $-1 \leq Z \leq 1$ であるから, (グラフの対称性を考えて)

$$\begin{aligned} P(45 \leq X \leq 75) &= P(-1 \leq Z \leq 1) = 2P(0 \leq Z \leq 1) \\ &= 2 \times 0.3413 = 0.6826 \end{aligned}$$

よって, 68.26% (答)

また, $X \geq 90$ のとき, $Z \geq 2$ であるから,

$$\begin{aligned} P(X \geq 90) &= P(Z \geq 2) = 0.5 - P(0 \leq Z \leq 2) \\ &= 0.5 - 0.4772 = 0.0228 \end{aligned}$$

よって, 2.28% (答)

正規分布表の一部

z_0	0.00	...
0.0	0.0000	...
\vdots	\vdots	
2.0	0.4772	...

$$P(0 \leq Z \leq 2) = 0.4772$$